

平成25年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	26	学校名	茨城県立勝田工業高等学校					課程	全日制			学校長名	宮田 耕一			
教頭名	鈴木 則夫										事務長名	平野 義夫				
教職員数	教諭	50	養護教諭	1	常勤講師	6	非常勤講師	5	実習教諭, 実習講師, 実習助手	7	事務職員	4	技術職員等	3	計	79
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	総合工学	226	14	232	6	230	5			688	25	18				

2 目指す学校像

◆人間性豊かで、基礎的・基本的な知識と技術・技能を身に付け、新しい時代に主体的に対応できる創造的な能力を備えた、たくましい工業人を育成する。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力が身につけていない生徒への指導体制が不十分である。 ・進学については3年間を見据えた進路指導がなされていない。 ・系の専門教科内容の系統立てや選択方法の整理が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力が身につけていない生徒への指導方法と指導内容の検証。定期テスト後の成績不審者に対する指導体制の検討。 ・授業形態の研究と授業時間の厳守に努める。 ・進学希望者に対して、入試制度を踏まえた進学指導体制の確立。 ・工業選択教科の内容の確認と選択方法の研究。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度の就職者は66%(内定率100%)。進学者は32%で、その内1名が国立大学に合格した。 ・企業との連携事業や体験学習の内容は充実したが、インターンシップへの参加者が減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年のキャリア教育は充実したが、生徒一人ひとりへのきめ細かな指導体制を確立し、全生徒の進路希望の明確化と進路実現を目指す。 ・地域産業と連携した企業見学会や説明会、企業体験等のさらなる充実と拡大を図り、対象学年との連携を深める。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員による挨拶指導・頭髪・服装等指導の協力体制が維持されている。 ・生徒の問題行動による指導件数が減少し、落ち着いた生活状態である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の指導に対する全職員の協力意識を継続する。 ・あらゆる機会を生かして規範意識の醸成を図る。 ・挨拶指導を通して、生徒への声かけ運動を行い、一人一人の生徒の把握に努める。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動などで生徒の自主的活動が目立つようになり自主性が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の参加率の増加と、もう一つ上の大会を目指す意識の高揚を図る。 ・学校行事への生徒会の参画と生徒の自主的活動の充実と拡大をさらに図っていく。

4 中期的目標

- 1 地域との連携を図り、活力に満ちた工業高校づくりを目指すとともに、自ら課題を見付け、自ら行動できる態度の育成に努める。
- 2 基礎・基本の確実な定着を図るとともに、自らの興味・関心・進路希望による科目選択学習を充実させ、個性を伸ばす教育の実現に努める。
- 3 安全教育を実践し、安全で安心できる学校生活を実現するとともに、他人を思いやる豊かな心の育成に努める。
- 4 スポーツを奨励し、体力の向上と不屈の精神の錬磨に努める。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
キャリア教育の推進	①地元企業等との連携事業や企業体験学習を拡大・充実させ、確かな学力(生きる力)を身に付けさせる。 ②大学等との連携事業や早い時期からの大学の出前授業や進学補講等、キャリア教育の充実を図り、学ぶ目標を明確にして学力・技術・技能の向上を目指す。 ③卒業時における就職希望者の合格内定率100%達成と進学指導の充実を図り、国公立大学合格を目指す。
個性を伸ばす教育の実現	④単位制総合工学科として適切な教育課程の研究と実践に努め、学校全体として授業を大切にし、基礎・基本の定着に努めながら、専門性の深化を目指す。 ⑤基礎資格の合格率アップを目指すとともに、電気工事士や普通旋盤3級等の、系を意識した高度な資格取得への挑戦者を増加させるとともに、ジュニアマイスター取得10名を目指す。 ⑥英語教育を主としながら国際理解教育を幅広く推進・展開し、国際化社会に対応できる人材の育成を図る。
豊かな心の育成と安全教育の推進	⑦基本的な生活習慣を確立させ、規範意識の醸成と問題行動の未然防止を図る。 ⑧施設設備の点検と安全教育を充実させ、学校事故撲滅を目指す。 ⑨ホームルーム活動の活性化と、学校教育全体を通じた道徳教育の推進及びボランティア活動の充実を図る。
部活動・特別活動の活性化	⑩部活動への積極的参加を奨励するとともに、生徒の自主的活動の活発化と学校行事への積極的参加を促す。
広報活動の推進	⑪開かれた学校づくりを目指し、中学校への出前授業や公開授業を実施するとともに、地域や保護者・中学校等へ情報を発信し、本校の特長をアピールする。